

TOPICS

気象情報 携帯メールで配信

NPO 小諸市 浅間登山者で実証実験

登山者の携帯電話は今月末まで。

装置がチラシのQRコードなどからアドレス

に気象や火山情報を配信する「登山者登録システム」の実証実験が今年10月、群馬、長野県境の浅間山（標高2568m）で始まった。これまで261組（11月19日現在）が同システムを利用。「ほかの山にも運用を広げて」と好評だ。実験

は今月末まで。同システムは小諸市とNPO法人「環境防災総合政策研究機構」（東京都、松尾一郎事務局長）が運営主体で、国土交通省利根川水系砂防事務所

とNPO法人「環境防災総合政策研究機構」（東京都、松尾一郎事務局長）が運営主体で、国土交通省利根川水系砂防事務所

とNPO法人「環境防災総合政策研究機構」（東京都、松尾一郎事務局長）が運営主体で、国土交通省利根川水系砂防事務所


を取得し登録すると入山、下山届けができ、各種情報を得られるようになる。

サイトでは浅間山

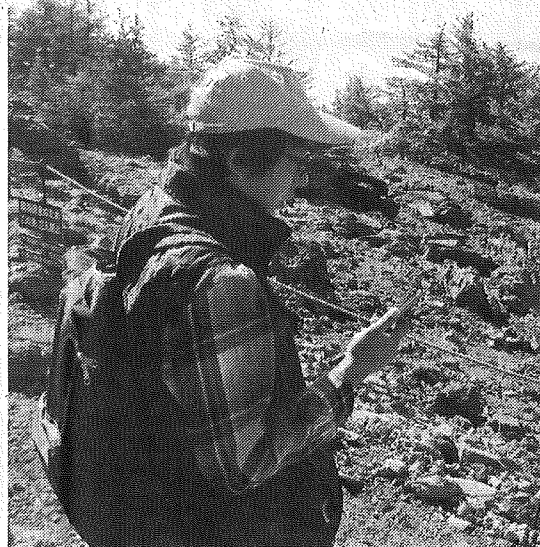
設置されたスピーカーで

所や気象庁などが協力。登山口の情報読み取り

所や気象庁などが協力。登山口の情報読み取り



周辺の天気チェック！
気象情報
提供：日本気象協会
今日の浅間山
浅間山ライブカメラ(東)
浅間山ライブカメラ(西)
実証実験運営主体
NPO法人 環境防災総合政策研究機構(CENI)
小諸市



緊急情報はメールの自動配信機能で登山者に知らせる(上) 気象情報や山のライブ映像が確認できる新システムのポータルサイト(右)

各種情報が行き届くようになる。期待は広がる。とはいえ、登山道は通信不可能な地域もあり、本格稼働にはコスト面に課題が残る。「関係機関と協力してシステムの拡充を図っていきたい」と松尾事務局長。地元の観光案内情報なども盛り込み、地域振興に貢献するサイト運用も目指す。

火山情報も放送することになっているが、強風など気象条件で聞こえづらくなるという難点があった。同システムなら個人に

周辺の現在の気象情報がチェックできるほか、山のライブ映像を見ることが可能。火山活動が活発化したり、気象庁による緊急情報については自動配信メールで知らせる。また災害時の安否確認にも役立つとされている。現在は登山道に設置されたスピーカーで